



令和7年の新春を迎えて

株式会社ニコン 取締役 兼 専務執行役員
大村泰弘 OHMURA, Yasuhiro

令和7年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

当協会の運営及び活動に関しまして、平素より多大な御支援、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年も各技術部会による講演会や人材育成事業での技術講座等、関係者の皆様と講師の方々に御尽力頂き、充実した内容で活動することが出来ました。また、新たに正会員として入会頂いた企業様もございました。今後も、更なる発展へ向けて取り組んで行く所存でおります。引き続き、皆様のお力添えをお願いいたします。

近年のオプトエレクトロニクス技術は、デジタル技術、バイオ・医療、半導体、自動車、ロボット等の幅広い産業分野において利用され、不可欠なものとなっております。光学に携わる企業としては、従来積み重ねてきた技術を継承し磨きをかけていく一方で、新規光学技術の産業展開や AI 等光学以外の先端技術との融合にも取り組み、イノベーションを実現させていく必要があります。

また、日本国内の経済状況を見ますと、経済産業省の「令和7年度経済産業政策の重点(案)」において述べられていますように、現在は過去30年で最高水準の設備投資額・賃上げ率となっており、新しい経済ステージへ移行する歴史的な転換点と見込まれています。想定されている人口減少の局面においても、「国内投資の拡大」、「イノベーションの加速」、「国民の所得向上」の好循環を実現することで、豊かな生活を実現すべく多くの施策が検討されています。会員各社様におかれましても、着実に状況変化に対応しつつ、新たな挑戦にも取り組まれていくことと思いますが、数多くの経営課題、技術課題に個社で対応するには限りがあると思います。そこで、当協会の枠組みも活用し、産官学の協力体制も強化しつつ、関係者の皆様で連携していくことが重要になります。

就任時のご挨拶で申し上げましたように、本年も蓄積された資産を確実に維持しつつ、新たな課題にも積極的に取り組む方針で活動していきます。特に、次世代光学技術人材の育成については、人口減少が想定される中、最重要課題になると考えております。今年には人材育成事業として27講座を開催予定で、新規講座も企画しております。皆さまの御意見や御要望を丁寧に伺いつつ議論を重ね、中長期的な視点で効率的な教育体制を充実させていきます。新規技術への取り組みとしては、特に注目度の高い「メタサーフェス・メタレンズ」についてのセミナーを企画中です。また、昨年の理事会にて予算実行の承認を頂きました当協会ホームページのリニューアルも進行中で、今後の情報発信がより容易かつ効果的に行えるようになることが期待されます。

最後になりましたが、令和7年が皆様にとって素晴らしい年になりますように、心よりお祈り申し上げますとともに、今後とも当協会へのご支援、ご協力をお願いしまして私の挨拶とさせていただきます。